

【優秀修士論文】

| 2018年度(平成30年度) | |
|-------------------|--|
| 石田 和己 | 「対日直接投資の要因と中国の関係について研究」 |
| 大賀 健介 | 「瀬戸内海沿岸における塩田廃止後の跡地開発問題－第四次塩業整備を中心に－」 |
| 小川 翔吾 | 「二部門不均衡成長モデルの分析」 |
| 木戸 大道 | “DOES THE SAFETY TECHNOLOGY ACTUALLY REDUCE AUTO ACCIDENTS?” (安全技術により、自動車事故は減っているのか) |
| 三田 光星 | 「Occupation Timeの動学的費用最小化問題への応用」 |
| エレラ ベラスケス ホセ テ ヘス | “Allocating Investments in Conglomerate Mergers: A Game Theory Approach” (コングロマリット合併への投資分配: ゲーム理論アプローチ) |
| 2017年度(平成29年度) | |
| 天野 良明 | 「IFRS任意適用がM&Aの収益性へ与える影響」 |
| 庄司 豊 | 「管理会計研究における研究手法としてのコンピュータシミュレーション –フィードフォワードコントロールが成果に及ぼす影響の分析–」 |
| 妹尾 康代 | 「公開特許公報データを用いた研究開発部門の生産性における人的ネットワーク効果に関する分析」 |
| 谷川 駿介 | 「貸出債券ポートフォリオのモニタリング方法を最適化することに関して」 |
| 劉 焰 | “Stationarity of Autoregressive Processes with Endogenous Regime Switching and Asymptotic Properties of the Maximum Likelihood Estimator(内生的レジーム転換をもつ自己回帰モデルの定常性及び最尤推定量の漸近的性質) |
| 2016年度(平成28年度) | |
| 水 忠昊 | “Rejection prices and an auctioneer with non-monotonic utility” (拒否価格と非単調的な効用関数をもつ出品者) |
| 丸谷 恭平 | “Analysis of mechanism design with maxmin agents” (maxminエージェントを考慮したメカニズム・デザインの分析) |
| 百瀬 智仁 | 「G.カッセルの景気理論 –1904年論文を中心として–」 |
| 2015年度(平成27年度) | |
| 今井 雄一 | 「財の代替性・補完性と戦略変数の選択」 |
| 清水 涼介 | 「開放経済における信用市場の不完全性とバブル」 |
| ケヴヘイッシュウィリ・ルースダン | “Analysis of Simultaneous Company Defaults Using a Shot Noise Process” (ショットノイズ過程を用いた企業同時倒産分析) |